

百尺竿頭

ひゃく しゃく かん とう



札幌市青少年山の家だより

第 21 号

平成 24 年(2012 年) 4 月 1 日発行

札幌市青少年山の家

館長 齊藤 隆仁

「自然」って素晴らしいね

まだまだ寒い日が続いておりますが、残雪の中から少しずつ春の気配が感じられるようになりました。日頃より札幌市青少年山の家をご利用いただき誠にありがとうございます。また、山の家運営に関して深いご理解とご協力をいただき、重ねて御礼申し上げます。

さて、平成 24 年度も山の家は野外教育施設として、生涯学習の観点から野外活動の普及を目的とした利用促進を図るとともに、利用団体の有意義な活動を支える支援体制を整え、安定した運営を目指します。

平成 24 年度の重点項目(新規・レベルアップ項目を抜粋)

- *市内小学校 5 年生の宿泊学習のための利用事前研修会の開催や出前授業の拡大
- *拡大出前授業の校数増
- *利用団体の活動支援の充実
- *幼保小連携モデル事業「なかよしキャンプ」の実施
- *長期自然体験学習モデル事業「トライキャンプ」の実施
- *小中連携モデル事業「小中交流キャンプ(仮称)」の実施
- *市内中学校歩くスキー授業の誘致
- *青少年山の家ボランティア活動の充実



また、利用申請手続きの煩雑さの改善など、利用された皆様から頂いておりましたご意見ご要望をできる限り反映できるよう努力してまいります。

自然の中には様々な生き物がいて、よく見てみると工夫を凝らして生きていることがわかります。草や木そして昆虫の名前を知るのも興味を持つひとつですね。また、森に入ると木がいっぱいあります。「何の木だろう?」、葉っぱの形や大きさ、木の生え方や太さの違いなどにも気がつくことが大切です。「自然」の中にいる素晴らしさは、「五感を直接体験できる」ことに尽きることでしょう。このような自然の中に囲まれた札幌市青少年山の家には多くの皆様のご利用を職員一同心よりお待ちしております。

実施事業のご報告

■第3回陶芸教室 3月4日(日)・11日(日)

作品にそれぞれが想いを込めて製作する様子が見られました。
参加者相互に情報交換をするなど、皆様のふれあいが印象的でした。



■専門指導者ワークショップ 3月20日(火・祝)

「信頼関係を築くワークショップ」と題しプロジェクトアドベンチャー
講習会を実施しました。
アクティビティ体験と理論実践に学びが多い事業となりました。



利用者アンケートより

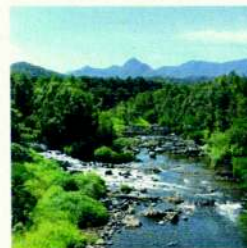
- 急な変更に対しても職員の方の臨機応変な対応に感謝いたします。
- 今回歩くスキーを初めて体験した子が多かったのですが、指導対応が丁寧でどの子も活動に夢中になっていました。素晴らしい場をいただけたことを嬉しく思います。
- ▲浴室のドライヤーに温風が出ない不良品がある。
⇒全ての設置ドライヤーを点検し正常に使用できる状況です。今後も定期的な設備点検を徹底し改善を図ります。

自然の 豆知識

雪融け～森と水のカンケイ

まだ雪深い滝野ですが、日が当たる斜面から雪が融けて春は足早に近づいています。冬の間降った雪は雪融け水となり、柔らかな腐葉土に浸透、ろ過をし、その途中では様々な養分を溶かしこみ、川にきれいな水を供給しています。一部は地表を流れるものもありますが、森林が水を蓄えてくれているからこそ、豊かな水資源に恵まれ、急な水の流出による洪水など災害から守ってくれているんですね。

ちなみに、札幌市の水道水は98%を豊平川から取水しているそうです。豊平川の源流域に広がる豊かな森があるからこそ、安定的に水の供給を受けられているのでしょう。



発行者：札幌市青少年山の家
指定管理者（財）札幌市青少年女性活動協会

〒005-0862 札幌市南区滝野 247 番地（国営滝野すずらん丘陵公園内）
電話(011)591-0303 FAX(011)591-0394
ホームページ <http://www.sapporo-yamanoie.jp>

